「キャリア・パスポート」を活用した授業例

1. ○○中学校　特別活動
2. ２学年　学級活動（３）「一人一人のキャリア形成と自己実現」

イ　社会参画意識の醸成や勤労観・職業観の形成

1. 題材「30歳になった自分を見つめよう」
2. 事前の指導（活動）

▶　職場体験活動の実施

▶　「キャリア・パスポート」（職場体験活動事後版）を各自記入させておく

1. 本時の学習過程

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 児童生徒の活動 | 指導の留意事項 |
| 導入 | ▶職場体験活動後で、気付いたことを話し合おう  　・伸ばせたこと  　・新しく発見したこと  　・働くことへの考え | ▶記入済みの職場体験活動後のキャリア・パスポートを活用し、伸ばせたことや新しく発見したこと等を具体的に伝えられるよう声かけを行う |
| 展開 | ▶友だちとの共有したことを踏まえ、これからの自分の進路や将来について考えていることについて発表する。  ▶30歳になった自分を見つめよう。  　キャリア・パスポートに記入する。  　・30歳の自分へどんな言葉かけをしたいか  ・30歳の自分がどんな仕事をしているのか。そのことに興味を持った理由  ▶記入した内容についてグループで話し合う。  　・記入後、グループで話し合う。    ・グループでの話合い後、クラス全体で共有する。 | ・学級内での対話と30歳の自分について考える活動がつながって話し合えるように支援する。  ・職場体験でお世話になった人々のことも思い出させる。  ・グループ活動では、付箋に記入したものを貼っていくなど、意見が可視化できるように工夫する。  ・学級全体での話合いを通じて、自分自身のよさや興味関心など、多面的・多角的に自己理解が深まるよう意見を引き出す工夫をする。 |
| 終末 | ▶自分が思う30歳になるために、今、何をしていくべきかをキャリア・パスポートに記入する。  　共有 | ▶意思決定を自己実現や生活及び人間関係の改善等の実践につなぐよう留意する。 |

1. 事後の指導（活動）

▶　１年生の際に書いていた「15歳の自分」のページを見直す。

▶　「キャリア・パスポート」の「保護者からのメッセージ」を各自書いてもらう。

▶　職場体験を実施した事業所（受入先）への礼状を書く。